



岩村田高等学校  
同窓会  
 発行人 佐々木 正行 幸  
 編集人 中 沢 朝 幸  
 佐久市岩村田1248-1  
 岩村田高等学校内  
 TEL 0267-67-2439(代)  
 印刷 恵 企 画  
 題字は旧中第21回卒 上嶋桂風氏

# ごあいさつ

同窓会長 佐々木 正行 (高17回)



私は昭和40年3月(高17回)に卒業した佐々木正行です。高校時代は佐久市中込新町で中込駅のすぐ近くに住んでいて小海線で通学していました。生物の柳沢基一先生、物理の関口直人先生が近くに住まわっていて毎日小海線に乗って行きました。車両の席はほぼ決まっていた、いつもの人がいないと「どうしたのだろう」と心配したものです。

岩高も92年目を迎え、私も69歳となりました。時代の重みを感じさせられます。私達年代は日本経済の発展と共に進んで来ましたラジオの時代。またお風呂も各家庭にはなく共同風呂です。ほとんどの町

には1〜2軒あり、その時飲んだ牛乳はとてもおいしかったです。履物は下駄かゴムの短靴です。腰には手ぬぐいをぶらさげていました。レコードの時代。美空ひばり、橋幸男、舟木一夫等の歌手が出て来ました。又、映画館に高校生になって入場することができ、新しくなるたびに見に行きました。また高価なテレビが出はじめた頃よく他人の家に見に行っていたものです。あまり私が見に行くので親父がテレビを買いました。今思うと、他人の家で夕食を食べているのに部屋の隅で見ていたのも不思議です。小遣いでよくレコード盤を買いました。ドーナツ盤でピニールシートが出て来てからは安くなりました。テープレコー

ダーもこの時期です。東京オリピックでテレビが各家庭に1台と言う家庭電機メーカーはものすごい発展ぶりでした。カラーテレビ時代。私は社会人となり、そのころの給料は15000円でした。この時20万



第7回佐藤寅太郎賞授与

現在の高校生は孫になるほどの差はありますが、古い時代に生きた良さ、又、今のIT、ハイテクを自由に操作する子供達の良さを勉強しながら、私の生き方が少しでも子供達の将来の切っ掛けになればうれしく思います。さらに日本中に広がっている岩高の同窓生が学生時代のなつかしい思い出を胸に各地で活躍しています。岩高へ来た時、是非同窓会館に寄って下さい。また今後同窓会に力をお貸し下さい。よろしくお願い申し上げます。

卒業して50年以上、半世紀です。岩高卒業生も2万5000人余にもなり私が同窓会に顔を出し始めてから十数年になりました。何か同窓会に役に立つことがあるか人生再チャレンジの思いで今回同窓会長を引き受けました。



伝統の強歩大会 男子1位・女子1位

## 関東支部 東都岩高会総会

- 日時 平成28年6月19日(日) 受付開始11時、11時30分開会
- 場所 ライオン銀座7丁目店 6Fクラシックホール 中央区銀座7-9-20 ☎050-5788-0502

全国にお住まいの同窓生の皆さま、この機会にちょっと覗いてみては如何でしょうか！ 関東支部一同お待ちしております。平成28年度卒業の皆様と関東地区の学生様を、東都岩高会では上記総会へ参加費無料でご招待申し上げますので奮ってご参加下さい。申し込みに関しては岩高同窓会のHPをご覧ください。

関東支部 東都岩高会会長 清水 光男 ☎03-3921-7939

## 第46回

## 岩高同窓生作品展 作品募集

岩高同窓生作品展を岩高祭一般公開(7月2日・3日)にあわせて母校にて開催します。より多くの皆様の出展をよろしくお願い致します。

- 開催期間 7月2日(土)12:00~16:00 7月3日(日)9:00~16:00
- 会場 岩村田高校本館2階
- 募集作品 絵画・書道・写真・工芸・彫刻など、すべての分野の創作作品
- 応募締切 6月24日(金)
- 搬入日 7月1日(金)12:00~ 直接会場へ搬入・展示作業。

遠隔地等から送られる場合は、同窓会事務局宛で学校へお送り下さい。(詳細は本紙面2頁をご覧ください)

平成28年度の定期総会を下記のとおり開催します。同窓生多数、特に若い皆さんのご参加をお待ちします。

## 定期総会 講演会 懇親会 のご案内

- 日時 6月25日(土)
  - 場所 岩高会館
  - 受付 茶道班 お点前13:40~
  - 総会 14:30~
  - 講演会 16:00~ 講師 佐久税務署長 榎澤 完一氏(高31回) 演題「税金よもやまばなし」
- 懇親会-総会終了後、「佐久ホテル」にて。 ☎0267-67-3003
- 会費-5,000円

# ごあいさつ

学校長 小松 容いさる



平成27年度末の人事異動により、県教育委員会事務局心の支援課から転任してまいりました小松容と申します。私は、もともと中信の出身ですが、現在は長野市篠ノ井に居を構えております。90年を超える歴史と伝統ある学校に勤務することの責任の重みを感じています。微力ではありますが、岩村田高校の更なる発展のために力を尽くしたいと考えておりますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。日頃より、佐々木正行同窓会長様をはじめ、同窓会の皆様には岩村田高校を物心両面で支えていただいておりますことに感謝申し上げます。

岩村田高校は、4月6日に新生201名を迎え、計601名で平成28年度のスタートを切りました。生徒達は現在、勉強に班活動に励んでおり、落ち着いた学校生活を送っているところです。

また、平成28年度の学校教育目標を以下の4点に定め、私達教員一人一人が学校目標実現のため、日々実践しているところ

- 1、教師一人一人が創意工夫をし、生徒が自主的に学習で、進路実現を支援するために学力向上を図ることができ、学習環境及び授業づくり
- 2、特別活動等をおして心身の健全な発達を促す学校づくり
- 3、文武両道を基本として生徒・保護者・地域の願いに応えられる開かれた学校づくり
- 4、いじめや体罰のない、生徒が安心かつ安全に過ごすことができる学校づくり

さて、本校は、普通科単独校として2年目になるわけですが、学校長として、目の前にいる生徒にどう力をつけさせるか、ということも考えることも大事ですが、長い目で見た時に「未来を予測すること」、つまり、10年後、20年後、更にもっと先の岩村田高校をどうするか、ということも考え、方向性を明らかにしていかなければなりません。

人口減少、少子高齢化、グローバル化、インターネット等の普及により、私達を取り巻く社会環境が加速度的に大きく変化してきますが、もう一つ大きく変わろうとしているのが大学入試です。大学入試制度全体が、真

の「学力」を評価するシステムへと変わっていきます。受験指導も、知識の暗記・再生が中心となるペーパーテスト対策から、真の「学力」を育成するための主体的な学びへと変わっていくこととなります。新制度では、「思考力・判断力・表現力」を中心に評価がなされ予定で、「思考力・判断力・表現力」と「思考力・判断力・表現力」とは、「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し成果等を表現するために必要な能力」のことです。特に、「自ら課題を発見し、答えが一つに定まらない問題に解を見出していくために必要な諸能力」が重視され、それらの諸能力を評価する作問が、各教科・科目について検討されています。また、他の教科・科目や社会と

の関わりを意識した内容など、教科を越えて知識・技能を活用することが求められる出題も想定されています。

高大接続を考えた時、大学入試が変わる一方で、高校だけが現在のままでいることはできません。新制度に対応できる何等の対策がこれからは求められます。これまでの知識偏重の20世紀型学力から21世紀型学力の育成を目指していくとともに、進路指導体制を更に確立させていくために、さまざまな角度から今後の岩村田高校の方向性を検討していかなければなりません。

同窓会の皆様にはこのような状況を踏まえ、岩村田高校の今後の更なる発展のため、変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 同窓会活動協力金ありがとうございます

2015・6・1から  
2016・3・31までに  
計561口  
1,585,000円  
いただきました。

一口1,000円の皆様からの浄財は岩村田高校約600名の在校生の学習活動、校内の施設設備など、県の予算でカバーできないあらゆる教育活動にたいへん役立っています。(同窓会報の会計報告決算をご覧ください)

他校の同窓会のように年会費という形ではなく毎年できるだけ多くのOBの皆さんからの

「母校への応援」という趣旨で任意の協力金という体制をとっています。同窓会報に添付の専用振込用紙をお使いになり年間を通して額の多少に関わらず協力していただければ在校生の励みと力になりますのでよろしくお願ひします。

尚、同窓会の名を語って個人情報を引き出すおそれや、振り込みを誘う事件が後を絶ちません。同窓会では電話を使つてこのようなお誘いは一切行っておりませんのでご承知下さい。また不明の場合は岩村田高校同窓会事務局にご確認下さいませようお願ひします。(事務局)

## 同窓会ニュース

岩高同窓生「慶事・表彰」一覽

ご慶事誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。(事務局にお知らせのあった方)

旭日小授章(27年3月)  
神津 武 士氏(中16回)

## 還暦記念品寄贈復活へ

かつて毎年行われておりました還暦記念品寄贈を、来年度還暦を迎える学年(高28、昭和51年卒)から復活できますよう準備を進めております。該当学年の皆様には今年8月頃、ご案内のはがきを郵送させていただきます。その上で、来年度にはご協力のご案内を送付させていただきますので、皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

## 第46回 同窓生作品展出品要項

6月24日(金)までに岩村田高校同窓会事務局へFAXでお送りください。(FAX番号: 0267-66-1450)

**第46回同窓生作品展記載事項**  
岩村田高校同窓会事務局御中

- 1、氏名・卒業年と卒業回  
(例) 岩高 太郎 (昭和48年卒、高25回)
- 2、住所・電話番号
- 3、作品種類 (絵画・書道・写真・工芸・彫刻他)
- 4、作品名
- 5、サイズ 縦 cm, 横 cm
- 6、懇親会参加の有無

◎額装には必ず吊り用金具と紐を付けてください。  
◎裏面に題名・卒業年・住所・氏名を記入した用紙を貼付してください。

〈今後の日程〉

- 1、作品搬入日時と場所: 7月1日(金) 午前12時~ 岩村田高校本館2階3教室
- 2、作品搬出・片付け: 7月3日(日)16:00より
- 3、懇親会・反省慰労会: 片付け終了後 17:00より 「こんどう岩村田店」 ☎0267-68-7300 岩高北



# 新生岩村田高校

教頭 小林 敏 明 (高34回)



日頃より、佐々木正行同窓会長様をはじめ、同窓会の皆様には物心両面における多大なるご支援ご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

私は、昨年度から本校で教頭職を拝命し今年度2年目となりました。本校には以前9年間教諭としても勤務させていただきました。おりまして、高校時代の3年間も併せますと、母校に通うのは今年14年目ということになります。これだけの年数を母校に係わらせていただけることは幸せであると感じる反面、責任の重さも強く感じているところであります。

さて、ご存じのように昨年度は、工業科の統合移転に伴い普通科単独校としてスタートを切った年でした。一昨年度の21クラス規模の約840名から16クラス600名という規模に変わり、男女比も女子の方が多いという学校に生まれ変わりました。昨年度末に199名の卒業生を輩出し、今年度は201名

(5クラス)の新入生を迎え、全校生徒数601名、職員総数49名でスタートしました。今年度も生徒・保護者・地域の願いに応える学校づくりを発想の原点として歩みを重ねて行きたいと思えます。引き続き同窓会の皆様にはご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

昨年度は普通科単独校元年として、3学年担任・進路指導部を中心に進路指導に重点を置いた取り組みがなされました。その結果、国公立大学、私立大学ともに目標としていた大学への進学を叶えた者が多く、本校の目指すひとつの方向へ踏み出せたのではないかと思います。国公立大学への進学については、4年前から14名、21名、26名、34名と右肩上がりに実績が伸びており、特に今年は、信州、千葉、埼玉、東京学芸、新潟、静岡、宇都宮、富山、福島といった国立大に19名の合格者が出ました。また私立大学においても、早稲田大学3名をはじめとしてGMARCHと呼ばれる学習院、明治、中央、立教、法政の各大学に計16名が合格し、本校生徒の底力を感じることが出来ました。今後はこれらの実績を一過

性のものとするのではなく、継続し発展させていくことが大切だと考えております。

クラブ活動においては、工業科生徒が転出したことによる影響を強く受けるだろうと思っておりますが、春の総合体育大会ではほとんどのクラブが県大会に駒を進め、更には、水泳と陸上の2班が北信越に出場しました。陸上組の山浦選手はインターハイにも駒を進め、全国の舞台で11位という結果を残しました。春に対して、秋の新人戦では、大きく生徒減の影響が現れ、県大会への出場が常連だったクラブが東信大会にとどまるという厳しい結果が開始されました。

文化クラブにおいては、これまでの活動を継続する形で活発な活動がなされていますが、やはり生徒が減ったことの影響はないとは言えません。生徒会活動・・・とりわけクラブ活動と進路の取り組みは、学校生活の中心であり両輪と言われます。今後、クラブ数の見直しや活動の取り組みの工夫などをする中で、クラブ活動の活性化を考えていくことが大きな課題となるかと思えます。

佐久地域、いや長野県、更には日本全体を見渡しても少子高齢化、人口減という大きな課題を抱え、今後どのような荒波が押し寄せてくるかわかりません。本校は普通科単独校として新た

な歩みを始めましたが、校内の変化だけではなく、世界的な変化に目を向け、その中でより効率的な教育をこの岩村田高校で行なっていくことの責務を感じているところでございます。責任の大きさを感じつつ、本校の発展のために全職員で取り組んでまいりたいと考えております。これからも同窓会の皆様のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 時の継承

正門を入るとロータリーの正面に高いポールに支えられた両面時計がある。教室からは八ヶ岳を背に、道行く人達には校舎を背に長年時を刻んできた電波時計。昨年の夏に止まってしまった修理を試みたが不可能とのこと。支柱に「贈 高校三回卒」と銘版が巻いてある。旧役

員の須江氏に連絡をとりながら今後の対応を考えた。還暦の記念に同期卒業生の皆さんから募金を募って寄贈したものであるが20年を超え役目は果たしたので撤去していただいかまわないとお返事を得た。岩高の風景の一部になっていたので何とか復活できないかと校内に呼びかけたところ3月の卒業生の記念品として学年から賛同を得た。同窓会からの補助金協力も快諾いただき2016年3月11日に電波時計が復活した。佐々木同窓会長のご好意で新たな記念銘版が付け加えられた。高3回生の想いは65年後の68回生が継承してくれたのである。(事務局柳澤)



## 甦った電波時計

須江 弘至 (高3回・前同窓会理事)

岩高3回生(昭和26年卒)の私達は、卒業以来長年にわたり親睦を深めてまいりました。私達がちょうど還暦を迎えた際、母校に何か記念になるものを・・・との思いで、校門の前に「電波時計」を寄贈させていただきました。以来この時計は、いつも岩高の皆さんに見守られていたのですが、風雨に晒されついに動かなくなりました。このことでした。

有り難いことに在校生の皆さんの熱意と、同窓会の皆さんの暖かいご好意により、このたび大修理されることになりました。こうして電波時計が甦ったのです。これもすべて岩村田高校の皆さまのお陰であると、心から感謝申し上げます。あの記念の時計が、いつまでも時を刻んでくれることを願っています。

### 聞けわたつみの 呼応にこたえて 戦時の随想記録を通して

大平洋戦争時、激しい戦時の下で体験したことを自分なりの句詩にして当時の心に残されたことを想起してみた。  
戦後70年の歳月を経て振り返るとき、幾多の貴重な体験をしてきたことはいっまでも忘れることは出来ない。



簾田 泉  
(中13回)

若鷺や飛び立つ勇士わが歳ぞ

知覧特攻平和会館内に掲げられた遺影と遺書、そして出撃時のこと思い浮かべると自分の年頃であったことと、すでに亡き隊員の仏心に感涙する。

我が友よ幾世の誉れ心しめ飛び立つ姿意気めきて若人や祖国の為と飛び立ちて血潮に燃えて華と散る

とこしえに  
み霊のとこしえに安らかならんことを祈りつつ、りりしい姿を永久に伝えたい心をこめて、ああ、開開の南に消えた勇士よ

恋人よ別れを惜しむ何時まで

愛し合ってきた恋人との別れが辛くその思いがいつまでも残されている。

若き日を希望に満ちて語り合う思い出を山河に寄せて追想す

幼き頃からの仲間と語ってきた思い出が沢山残されている。

自分たちのそれぞれ思いや希望の数々などが在りし日を通して心に残っている。

学び舎に惜しむ姿よ友別れ永久に帰らぬわが仲間たち

学問の道ひたすらに励みあい頑張ってきた友や仲間

との別れの辛さが身にしみてくる。軍事の強制にはどうしようもない互いに別れの辛さが残る。  
いざ征くぞ拳を上げて出で立ちぬ

出陣への覚悟をして行く兵士の姿が捉えられる。戦時色都市に燃え立つ巻脚半我が身に迫る思いせつなさ

軍靴の音。高らかに大地に響かせながら、今逝くぞとばかりに身を固めて勇む兵士たち。戦地に向かって勇んで行く兵士たちの軍靴が大地に響く。

兵役で笑顔で語る何時までも

短き人生となり、遊び仲間よいつまでも変わらぬ姿で元氣よく勇んで行く思い数知れず。若人のふる里はいつも変わらぬ遊び仲間の友と友、何時までも再び会える日々を願いを込めつつ。

海洋の島々に眠る御霊山岳の草木に散るわが兵士たち

海原の遠く果てなむ水草に兵士の姿おぼろげに眠る姿、ふる里への思いは尽きぬいつまでも。

戦後70年を迎え、その記憶を通しつづ記述する

人の命が羽毛のごとく称えられた戦争の時代は多くの人が戦地に送られ帰らぬ人となった。この戦争で肉親を失った子供たち、その悲しみは何時までも忘れないことです。

戦前、戦中、戦後を通してこれを追想したい

当時の国状をとらえて見ると昭和初期の日本の国力は海外に目を向けた勢力への拡大進出とこれに応じた軍事力の拡大であった。これを通して

た領土への野望として、国民の意思をそそり立てる手立てが軍備の拡充となつてこれに迫る国民は加害者となり、被害者にもなつてしまった。

戦争による国民の多くの犠牲への追悼後世に生きる人々の使命として、国の平和と福祉への果たす役割と礎をしつかり

堅持することが大切である。

### 思い出の一端



中澤 弘之 (中20回)

木曾川発電所工事に動員された

宿舎は三岳であったが王滝であったか忘却してしまつたが、バラック建ての宿舎に寝起きした。食事は充分あり、1日5合飯を木曾高女の人達が用意してくれていた。長野市の中学生達も動員されていた。

そこへの準備品の中に「肩あて(布団製)を持参するように」ということがあつた。何に使うのだらうと不思議に思つたが、仕事に入つて初めて解つた。鉄筋を運ぶためであつたのだつた。

肩に食い込む痛さは、中学3、4年生にとつては、たまつたものでなかつた。それでもお国のためと頑張るより他に道はなかつた。勉強どころではない疲れ切つて。しかし、それでも「海軍兵学校を受け

るのだ。」と、辞書を片手に勉強にいそしむ先輩に驚きもし感動したことも思い出す。

ところで、一緒に働く捕虜は八路軍と聞いた。食べ物はろくに与えられ

ず衰弱している兵士が多かつた気がする。下痢便は通り道のあちこちにしてあつて不快そのもの。そんな兵士を見ているうちに、1人の兵士と片言まじりで話すことができた。待遇はひどく聞きしに勝るものであつた。

私の心に1つの事がふつと浮かんできた。「そうだ明日から塩おむすびを持って来よう。」休憩に彼やその友達に1つ2つと分け与えた。その喜びようはなかつた。彼は、「戦争が終わつて帰れたら故郷へ招待します。」と美化されていた戦争観はだんだんと薄れていった。どれほど続いたか、1週間か10日か、しかし、いつの間にか彼等はいなくなつた。どうしたのか心が騒いだ。悲しく哀れさのみ残つた。

「戦争が終わつたら……。」という言葉は、86歳になつた今でも頭にこびりついていて離れない。

今、3月に施行された安全保障関連法案で揺れている。憲法が規定する国民の平和的共存権がいやでも侵害されようとしている。そして、やがて9条の改正となろうか。

許せない法案であり解釈とと思うのだが、あのチェルノブイリの際、「日本では起きない」と、ある

専門家・政治家は言つた。けれども、現実には25年後、今、悲しくも残念ながら福島で起きた。もう騙されてはならない、いや騙されまい。「遠い中学生時代の思い出(背景)をとおして若い者達に何かを」と原稿を依頼された時、思い出して忘れないことは前掲のことであつた。

老いも若きも、1人で悩まず考えず、国、社会、人類同士共に手を取り合つて、信頼と愛、畏敬の念を持つて、命の尊さ、大切さを原点として、考えていかねばならぬ重大な時と思うがどうだろうか。

今、悲しくも熊本の地震は凄じものだ。命こそ大切なこととしみじみ思うと共に、いかに手を差しのばせばいいのか戸惑う。幽明界を異にする世にはならない。真の民主主義社会の建設と合わせて、真理を求め生き行動していかねばならない時

が来ていると思われこの頃である。

### を考える

捕虜は八路軍と聞いた。食べ物はろくに与えられ



理科同好会製作品展 (昭和15年)



# 同級生と学徒勤労動員の思い出

大峽 愛子(女35回)

戦後70年と云う節目の昨年は色々報道がされ、私も女学生時代の学徒勤労動員での辛い経験が鮮明に思い出され感無量になりました。

昨年、今まで何年も途絶えておりました同級会を開催しました。何十年も会わなかった懐かしい友達です。そして色々な話をしている中いつの間にか話題はあの悲惨な戦争の学徒勤労動員の話になっていました。

名古屋市郊外の鷹来造兵廠にて私達118名は第1・第2工場で弾丸を作る作業に就く事となり軍事将校の命令の下、軍隊同様の生活を送りました。

昼夜2班に分かれての作業でしたが日に激しくなる本土空襲の最中です。作業中でもサイレンが鳴る度に工場内の空地に自分達が掘った防空壕へ飛び込み、小さな壕の中で友と2人不安に怯えながら何十回も逃げ込んだ事か。今でも胸が痛くなります。

そんな不安な毎日の時、「東南海地震」がありました。寮の壁は無残にも崩れ落ち、朝夕鉢巻をして軍歌を歌いながら整理して通う道路は見事真っ二つに割れ、地面に掘った防火水槽の水もすべてこぼれ空になっていました。本当に二重の怖さを味わいました。



▲卒業写真

◀朝夕軍歌を歌いながら締めた神風の鉢巻と岩村田高等女学校の腕章



わいました。

卒業式は工場内の体育館でした。そしてその頃から弾丸作りではなく風船爆弾作りに従事しており、その成功を信じながら空腹を抱え一心に励んでおりました。煙を吐いて何十機・何



昭和19年7月30日 学徒勤労動員壮行式記念 右から2番目が私

## 戦後70年

### 岩村田ー音楽ーそして現在

飯塚美恵子(高8回)



大浅岳は……心の中で唱いながら第68回卒業式に参列させて頂きました。

思えば60年ぶりの学窓出席でした。少々落ち着かない思いで開式を待っていたのですが……女子生徒の姿を見て、何れの短大の卒業式……と。私は小学校3年生の4月に岩村田に転校しました。終戦から3年目の事。

その頃の日常の社会環境は大変なものでした。食糧と衣料が不足し入手困難で両親は苦勞していました。そのような時代でしたが友達と遊ぶことは工夫しておやつ「ふかしいも」を分けあって楽しく過ごし笑いを忘れていかなかったように思います。

3年生になり音大へ行く決心をし進学勉強を考えた時、学科は自分で出来るとしても実技はその途の先生に付いて練習を、しかし岩村田近辺にはその道を導いて下さる先生が居りませんので夏休み明けから東京の先生宅へ月に2度通いました。

私達の女学生時代の4年間は太平洋戦争で、終戦後共に青春の思い出に楽しい時はありませんでした。こんな体験を2度と孫子達にさせてはならないと常に平和を念じる今日この頃です。まもなく米寿になる私たち同級生一同この平和な世界に元気で長生きしましょうと誓い、名残り惜しみながら散会しました。

現在では考えられないことでしょうか。現在の友人もその頃の方々です。

現在は食料品も多く、衣服、装飾品も種々溢れ、学用品等は夢の世界です。

今後の岩高の良き在り方を願いつつ……。

戦後70年——とひと口に言えることでしょうか……その年月の中で人々は生きることが容易



卒業生シリーズ⑫

「健康」ベストな身体をめざして

出澤 龍一 (高10回)



朝起床して、必ず行動して... トレッチ体操です。特にストレッチは時間にして1時間位です。体の筋を伸ばし、体に柔軟性をもつことがポイントです。このことは15年位続けております。しかしながら、65歳頃は自分の健康を過信し暴飲暴食無計

画なでたらめな私生活を邁進するマンネリ化の日常を送る最悪な時でした。そんな悪循環を積み重ねることのつげがきました。68歳の時に脳梗塞を招きました。当時忘年会、新年会と連日続き、疲労度がピークに達しておりました。その時同時に義兄の悲報があり、葬儀のお手伝いでお通夜の時に身体の異変が起りました。言葉を話そうとすると声が出ない、物を手に持とうとすると脱力を感じ、そして筆記も充分な対応が出来ない程、生まれて初めての身体の動きでした。

ですから、急な出来事で状況が理解不能です。次の日病院で診察をうけ即4日間、検査入院をし、結果は軽い脳梗塞でさいわい脳の梗塞位置は毛細血管だと判明しました。それだと快復も早く血管の再生もできるそうです。あらためて、己の運の良さを祈りました。その他の検査の結果もありました。高血圧、糖尿、血中脂肪、体内脂肪等々が最悪な最高値を示しており、今後の生活リズムを180度方向を転換し体質改善をするためには、どうしたらいいか、つらい決心でしたが、酒と煙草を完全にやめること、それにより予防になり、健康を取り戻す第一歩であるとして一大決心をしました。それから8年、76歳を迎え改善

したことは血圧は130/70位維持(薬を服用)、糖尿はヘモグロビンA1C値6.6、6.8位維持(薬は2年前より服用せず)完全に克服しました。体重も10kg減らし、体内脂肪、血中脂肪、コレステロール等正常な状態を維持するよう努力しました。日課にしている、ストレッチ運動の効果も日常の歩行にたいし困難もなく、足腰の痛みもなく正常です。趣味にしているゴルフにおいても、打ち出しのティグラウンドは高齢者用シルバーマークでなく、一般男性用のレギュラーをいまだに挑戦しております。平凡ではありますが同じ習慣を積み重ねることが一日、一日を「一陽来復」心身をベストな状態にすることだと思えます。

サラダボウルな世界へ

吉川 友子 (高42回)



80年代、日本はまさにバブル真っ最中で円高が進み、当時高校生であった私には、景気のこととはよくわからなくとも、多くの若者が海外に目を向けていることは感じていました。中学の頃から海外への憧れは強く、いつか絶対に行くことに決めていたのを覚えています。岩村田高校2年の夏に、偶然にも留学のチャンスが訪れ、即決し旅立ちました。

多く、アメリカの白人男性がmajorityと言われる世界で、アジア系の女性といふminorityになり、弱い立場にたつて物事を考えることの大切さを学びました。このような経験が今の活動に活かされることも多々あります。日本では、最近やっと「多様性」が認められるようになってきましたが、自己主張するにはまだまだ覚悟が必要です。在学生のみならずも相手を尊重しながらも自分の考えをしっかりと持って主張していくってください。最近では、海外へ目を向ける若者が少なくなってきたと聞きます。自分の知らない世界で生活してみることができるとは、苦勞もありますが、その体験で得るものは大きく、広い視野を持つことができるようになります。これから世界で求められる人材の一人となることができるとは、苦勞もありません。

『鈴木公人画伯米寿記念 日本画展盛況にて開催』

記念展を終えて

鈴木 公人 (中18回)

桜の花びらがさわやかな風に舞う頃、昭和3年生れ、岩中18回卒の私は、ここに米寿を迎える歳となりました。幸せなことと存じます。そして日頃お励ましいただいております後援会の皆様から、記念展開催のお話を聞き、4月16日、24日の間、佐久市立近代美術館視聴覚室におきまして、後援会主催「鈴木公

人米寿記念日本画展」を開催していただきました。会場には、ここ15年間の20点余りの額装、屏風、軸装の作品を回顧しながらも、近況を報告する意味も含め展示させていただきました。期間中天候にも恵まれ、一日100人近い方々にお越しをいただき、懐かしくまたうれしい出会いの中で、大きなお力を頂戴させていただきましたこと、本当に有難く篤く御礼を申させていたいております。

顧みますと、絵筆を執って60年あまり、ここ佐久の清澄峻厳な自然と、篤い人情に育てられ、中でも感性豊かな学生時代は私という人間の基礎を築いていたのだと思えます。その後、教職につきながらも師のもとに通つての修業と挑戦(日展出品等)の時代を経て、許しを得て郷里での活動に務めさせていだいて参りました。そして今米寿を迎えた私は、報恩に心しつつ、今後は体調面を考えながら、豊かな自然の中でゆったりと絵筆を執らせていただき、皆様のご期待にお応えできまよう、



勤めて参るべく歩みを進めたいと思っております。どうぞ変わらざるようお願い申し上げます。

私がアメリカで学んだ一番大きなことは、一人一人考え方や価値観が違って当たり前、ということ。アメリカでは様々な人種や民族がいて、「人種のるつぼ(一つのつぼで異なったものが溶け合う)」から「サラダボウル(違うものが混在し、協調している)へ」と考え方も変わっていった時代でした。個性があることを良いこととし、人と同じことをするなという考え方がとても新鮮でした。



また、「少数派」の立場というのも経験してみると学ぶことが



平成27年度岩村田高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 6,204,714円 支出総額 5,496,784円 差引残額 707,930円

自 平成27年 4 月 1 日～至 平成28年 3 月31日 岩村田高等学校同窓会長 佐々木 正行

Table with financial data for FY2015, including income and expense sections with columns for item, budget, actual, and description.

平成28年度岩村田高等学校同窓会一般会計予算書 (案)

収入総額 5,018,030円 支出総額 5,018,030円 差引残額 0円

自 平成28年 4 月 1 日～至 平成29年 3 月31日 岩村田高等学校同窓会長 佐々木 正行

Table with financial data for FY2016 budget, including income and expense sections with columns for item, budget, previous year, and description.

※尚、予算に過不足が生じた場合、正副会長相談の上、一任させていただきます。

一一一美会便り

昭和19年3月、岩村田高等学校卒業の私達は最後の同級会を平成27年4月20日、21日と布引温泉こもろで致しました。遠く三島市より清水秀子さんが集まりました。杖をついて来た人もいました。杖をついて楽しく近況やら思い出のあれ

これと話題が尽きずに夜が更け、翌日の午後2時別れを惜しみ乍ら解散致しました。思えば戦中戦後の困難な時代に山あり谷ありの人生を生きて抜いての今日の集まりです。恩師はすでに亡く、同級生の幾人かは鬼籍に入っており、卒業後71年目の同級会をすることが出来て、有難く感謝でいっぱいです。岩村田高等学校で学んだ4年間で人間と

しての基礎が出来て、様々な事態に対応することが可能になったことを思い教育の有難さが身に沁みます。今後も後進の皆様が勉学に励み、よい社会を築いて下さることを願って止みません。 佐藤 いく



みすゞ文芸

- 俳壇 神津 武士(旧中16回)
柳壇 山崎 英夫(旧中21回)
短歌 市村 雅(高5回)
柳壇 柳澤 秀一(高9回)



生徒会長  
2-E 佐々木航平

良い伝統の継承は簡単ではありませんが、一人ひとりが意識して行動していくことで継続していけると思います。生徒会では、全校生徒が自発的に行動していけるように働きかけを行っていきたくと思っています。



生徒会副会長  
2-B 菊池 恵里



生徒会副会長  
2-E 土屋 光弘

生徒会のスローガンは「伝統の継承と発展」なので、先輩達からの伝統を引き継いでいきたいと思っています。そして、岩村田高校が普通科単独校になって2年目なので新しい岩村田高校を創り上げていきたいです。

### 第52回岩高祭

7月2日(土)・3日(日)



岩高祭実行委員長  
西澤 駿斗

3学年に進級し、いよいよ岩高祭実行委員長としての仕事に本格化してきます。普通科単独校となり2年目になりますが平

## 第7回 佐藤寅太郎賞

同窓会会則4条16「文武両道を実践し、模範となった生徒に対して卒業時に初代校長を記念し、佐藤寅太郎賞を授与する。」

小澤隆史君……以前から同窓会として卒業時に表彰を行ってきたが「佐藤寅太郎賞」の呼称に改め7回目となった。第1回女子3名、2回男子1名、3回女子3名、4回女子2名とここまでは女子優勢であったが5回目以降それぞれ男子1名が受賞している。

「文武両道」を校訓、学校目標に掲げる学校は数多い。学生の本分である勉学を第1とするもののそれだけでは人格のバランスに欠け、学生生活も無味乾燥になる。勉学以外の活動で体力、精神力などを補うことの重要性と効用を知る先人達から継承された教育理念なのであろう。「文武両道」を実践することは



凡と云われぬような王道を歩める岩高祭を目指したいです。



事務局からの風景  
第50回強歩大会記念  
長野県岩村田高等学校  
贈 岩村田高等学校同窓会・PTA 平成28年4月22日

年から2年までルーム長を務め、夏から弓道班の班長として班員をまとめあげた。中心選手としても活躍し、2年の秋の新人戦では「3人立ち」で北信越大会に出場。学業においては入学以来3年間を通じて常に最上位に位置した。温厚で冷静な人柄であり級友たちからの信頼も厚く、毎日の清掃も修行僧のごとく黙々と行った。毎年1月に3年間の生徒達の行動、実績を総合的に判断した担任団からの推薦を受け同窓会役員会で決定した。その後みごとに千葉大学政法経学部へ合格、進学。



4月6日に新入生201名を迎え、岩村田高校の1年がスタートした。3月の静かだった校舎に、賑わいが戻ってきた。朝、いつものように吹奏楽班の楽器の音が鳴り、グラウンドや体育館では朝練に励む生徒の音が響くいつもの朝だ。学校はこうでなくてはとつくづく思う。その一方、始業式や全校集会の生徒が整列した様子を見るとその数に少し寂しさを感じる。工業科が移転して2年目、新生岩村田高校頭張らなければと思う瞬間でもある。

こんな普通のスタートが切れた本校であるが、熊本では新学期早々大きな地震に見舞われた。死者四九名、負傷者も1400人を超え、避難所生活を余儀なくされている方々も多い。それにしても、近年大きな災害が多いような気がする。長野県でも2014年9月には、御嶽山の噴火により、55名の方々が亡くなられた。同年11月には、白馬村を中心とする長野北部地震が起こり、46人の負傷者を出した。私はこの時、北信越高校駅伝の役員で隣の大町市に滞在しており、この地震を間近で経験した(幸い被害は無かった)。私は以前災害により避難所に避難をした経験がある。今から21年前の1995年7月小谷村で起きた水害である。当時私は白馬高校に勤務しており、夕方から小谷村の会議に同僚10数名で出かけていた。朝からの雨が夕方から豪雨に変わり姫川が氾濫、橋が通れない状況になり避難所で一夜を過ごすことになった。家が流されたこと泣きじゃくりながら避難してくる老人や、ずぶ濡れで不安な顔をして疲れ切った人々、その時の避難所の悲惨な状況は今でも脳裏に焼き付いている。

熊本の高校生は今どんな生活をしているのだろうか。学校は再開されているようだが、以前の様な生活は送れない生徒も多いはずだ。冒頭に書いた岩村田高校の様子、勉強や部活動に頑張っている生徒達、仲の良い友達と談笑している姿、何気ない、いつもと変わらない生活が幸せなのだろうとつくづく感じている。

\*本年度より柳澤先生より事務局長を引き継ぎました内堀俊彦と申します。微力ではありますが今後よろしくお願います。また写真は本年度強歩大会が50回となり、記念のタオルを同窓会・PTAで作っていたいたいものです。ありがとうございました。



平成27年度運動部活動実績

平成27年度前期(1~3年生)班活加入率78・3%。運動班加入率56%。後期(1~2年生)班活加入率82・5%。運動班加入率57・9%。
新生岩村田高校運動部がスタートしました。

「文武は元来一徳であつて、分かつことができない。したがつて、武なき文、文なき武は共に真実の文ではなく、武でもない」(文武両道)は本校の学校重点目標の第1です。「文」を極めるなら論理的思考が必要だと思ひます。「武」からの学力向上、「文」からの技術向上」といったところでどうするか?我々指導者は、個々の力量に応じて文武の両立を目指し、日々絶え間ない努力を惜しまない、そんな生徒を可能な限り応援しています。そして、学校はそのための協力を惜しまないという態度を見せて、初めて「文武両道」の精神が語られるのだと思ひます。教員が簡単に「文武両道」を口に、「勉強も班活も頑張りますよ!」ではなく、学問と運動は常に表裏一体であり、「文武一貫」の理念に基づいた指導を展開していく学校を目指します。
運動部長 花岡 淳一



今年度新設していただいたトレーニングルーム

Table with columns for sports categories (Basketball, Volleyball, Judo, Archery, Soft Tennis, Hard Tennis, Badminton) and rows for gender (Male/Female) and competition level (Prefecture/Regional). It lists various achievements and records.



浦野成平(右)が、男子100mハードルで、県記録を更新し、優勝した。

Large table with columns for sports (卓球, 陸上, 水泳, サッカー, 野球) and rows for gender (Male/Female) and competition level (Prefecture/Regional). It lists various achievements and records.

今年着任された先生方
敬称を略させていただきます

ご退職・ご転出の先生方
敬称を略させていただきます

- List of staff members including their names, titles, and schools. Includes sections for '今年着任された先生方' and 'ご退職・ご転出の先生方'.

平成27年度文化部活動実績

本年度は、長野県総合文化祭が本校を事務局として、11月20日(金)から22日(日)の3日間を中心

に東御市のサンテラスホールをメイン会場として開催されました。本校からも、高文連加盟の各部

が参加。また、実行委員長の佐々木航平君のほか何名かの生徒が実行委員として運営に携わりまし

た。その概要は以下の通りです。また勿論、日頃からの活動も運動部に劣らず活発ですが、それ

についてはその下に掲げます。

22日(金)……パレード。上田城址公園から上田駅前、アリオ。

23日(土)……東信吹奏楽合同チーム、邦楽演奏。書道パフォーマンス(本校参加)。ギターマンドリ

ン、他。サンテラスホール。

24日(日)……合同音楽祭(東信地区音楽係文化部)。サンテラスホール。文化部長 小林 修一

Table with 4 columns: 班・同好会名, 大会名など, 成果・会場等, and detailed activity descriptions for various classes like English, Art, Music, and Chess.

Table with 4 columns: 班・同好会名, 大会名など, 成果・会場等, and detailed activity descriptions for Music and Book Clubs.

平成27年度卒業生進路結果について

進路指導主事 甲田 泰広

同窓会の皆様には、日頃の教育活動についてご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

今年度は5クラス199名が卒業しました。その内訳は四年制大学進学が122名(61.3%)、短期大学進学者が15名(7.5%)、専門・各種学校進学者が27名(13.6%)、就職が6名(3.0%)、予備校等が29名となっています。



入試年度別合格状況

平成28年 3 月31日現在

入 試 年	28年		27年		26年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
国公立大学	34	3	26	8	21	6
私立大学	182	39	120	28	131	12
国公立短大	7	0	6	1	9	0
私立短大	13	0	9	0	13	0
所管外大学校	1	0	3	0	1	0
専門学校・各種学校	28	1	35	0	20	0

国公立大学

入 試 年	28年		27年		26年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
北海道大					1	
北見工業大					1	
山形大			1			
福島大	1					2
茨城大		1				
群馬大						2
埼玉大	1					1
埼玉県立大			1			
宇都宮大	1				1	
千葉大	1					
東京学芸大	1					
新潟大	1					
上越教育大	2			1		
富山大	3		4	1	2	
山梨大	1				1	
静岡大	2		1	1		
静岡文化芸術大			1			
信州大	4	2	3	2	1	2
和歌山大					1	
琉球大					1	
筑波技術大	1					
茨城県立保健医療大					1	
国際教養大	1					
群馬県立女子大			1		1	
群馬県民健康科学大		1			1	
高崎経大	7		5	2	5	
埼玉県立大			1			
千葉県立保健医療大	1					
首都大東京					1	
横浜市立大					1	
長岡造形大	2		2			
金沢美術工芸大			1			
山梨県立大	1					
都留文化大	1		3			
静岡文化芸術大			1			
長野県看護大	1		3			
富山県立大						1
福井県立大					1	
島根県立大				1		
下関市立大	1					
北九州市立大					1	

私立大学

入 試 年	28年		27年		26年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
つくば国際大			1		1	
国際医療福祉大					2	1
上武大					1	

入 試 年	28年		27年		26年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
東京福祉大					1	
国際医療福祉大	2				2	2
高崎健康福祉大	7		5		5	
群馬医療福祉大	2				1	
群馬パース大	4		3		3	
共愛学園前橋国際大					1	
埼玉医科大	1					
獨協大	1	1				
埼玉工大					1	
城西大			1			
駿河台大			1		1	
人間総合科学大					1	
文教大		1	5		6	
文京学院大	1				1	
日本医療科学大		1	1		3	2
神田外語大					1	
聖徳大			1			
国際武道大	3					
神田外語大					1	
帝京平成大			2			
青山学院大			2	1		
亜細亜大	2			1	2	
桜美林大	1		4		1	
学習院大	1	1		1		
大妻女子大			1		1	
共立女子大	1		1		3	
北里大					1	
杏林大	1	2			1	
国学院大	1	3		2		
国土館大	2	2	1		1	
駒澤大	2	2	1	1	4	
駒沢女大				1		
昭和薬科大	1		1			
実践女子大				1		
順天堂大				1		
成蹊大					2	
成城大	1					
専修大	8	2	3		7	
大正大				1	2	
大東文化大	5		4	1	4	
拓殖大			2		1	
玉川大						2
多摩美大					1	
中央大	3	1	3	4	1	
帝京大	7	1	4		3	
東海大	5	1	1	1	1	1
東京医療保健大					1	
東京家政大	1		2		1	
東京経大				2	1	
東京工科大				1		
東京造形大					1	
東京工芸大				1		
東京都市大		2				
東京電機大		1	1		2	1
東京農大	1					1
東京理科大				1	1	
東邦大	1	1	2			

入 試 年	28年		27年		26年	
	現	既卒	現	既卒	現	既卒
東洋大	9	2	6	3	8	1
二松学舎大	3					
日本大	6	2	3	3	6	
日本女子体育大				1		
日本体育大	1			1		1
文化学園大						1
法政大	10	1	5	2	7	1
武蔵大				1		1
武蔵野美大						1
明治大	2			1		
明治学院大	5		3	2	1	
立教大				2	3	
早稲田大	3					
明星大						1
目白大						1
立正大				1		2
神奈川大				2		4
フェリス学院大	1					
神奈川工科大	5	1				1
関東学院大				1		
相模女子大				1		
横浜薬科大				1		
新潟工科大						1
新潟工業大						1
新潟医療福祉大	7			1		
新潟薬科大	1					
新潟リハビリテーション				1		
金沢工大				1	2	3
福井工大						3
山梨学院大				4		1
健康科学大				2		1
長野大	4			3		2
長野保健医療大	1			1		
松本大				2		1
諏訪東京理科大				2		
清泉学院大				2		1
佐久大	2			2		2
中部大				1		
修文大						1
中京大	4					
愛知大				1		
中部大				1		2
中部学院大						1
名古屋商科大				1		
成安造形大				1		
名古屋経済大						1
日本福祉大	3					
藤田保健衛生大	1					
奈良大	1					
京都学園大						1
京都橘大						1
京都造形大				2		
近畿大		1				
佛教大						2
立命館大	1	1	1			
甲南大						1
その他	37	8	37	2	40	0

# かんごさん

作 田中しよう (高25回)



### 編集余滴

▼昨年、太平洋戦争終結から70年の節目を迎え、岩中卒業生の方より遺言として当時の悲惨な状況を知ってほしいとお原稿を頂戴した。選挙権も今夏の参院選より18歳に引き下げられたタイミングの今号

で、2頁の特集として編集した。原稿依頼を差上げた方々には突然のご依頼にも関わらず気持ち良くお引き受けいただき感謝に堪えない。

▼今年はオリンピックイヤー、同窓生では2010年の冬季バンクーバーパラリンピックにて中島洋治氏(高34回)が男子車椅子カーリングにスキップ(主将)として参加。

2018年平昌(ピョンチャン)冬季五輪には、今年4月のカーリング男子世界選手権に日本代表として過去最高の4位に入ったSC軽井沢のスキップ両角友佑氏(高55回)とリードの両角公佑氏(高59回)兄弟の出場が見込まれる。フェアプレーやスポーツマンシップを称える賞を受賞しているお手本も、地域や後進の指導に生かされることを期待したい。(中沢記)

顧問	油井孝一郎	中12回
顧問	内山 宏志	中15回
顧問	佐藤 利次	中16回
顧問	神津 武士	中18回
顧問	鈴木 公人	中18回
顧問	柳沢 政安	高3回
顧問	拓男	高15回
顧問	寺原 義幸	高24回



## 平成28年度同窓会役員

(任期 平成27年7月1日～平成29年6月30日)

事務局長	内堀 俊彦	高40回
事務局長	井上 隆	高29回
事務局長	田中 省三	高25回
事務局長	中沢 朝幸	高24回
事務局長	依田美恵子	高21回
事務局長	甘利 治子	高16回
事務局長	清水 光男	高8回
事務局長	佐々木正行	高17回
事務局長	出澤 龍一	高10回
事務局長	生駒 友臣	高7回
事務局長	中村 浩子	高6回
事務局長	渡辺かず子	高4回
事務局長	小林 良子	高4回
事務局長	本間 道夫	高4回
事務局長	浅野 和男	高2回
事務局長	望月 享	高2回
事務局長	毛利 定夫	中21回
事務局長	上原たづ子	女35回
事務局長	清水千代子	女34回
事務局長	佐藤 イク	女34回
事務局長	木内喜美江	女32回
事務局長	鈴木 初子	女31回
事務局長	矢ヶ崎良枝	女29回
事務局長	池田 薫	女27回
事務局長	小松 容	女27回
事務局長	池田 義則	女29回

常任理事	榎山よし子	高14回
常任理事	木下 幸江	高22回
常任理事	徳田 敏昭	高26回
常任理事	内藤 勝利	高32回
常任理事	阿部 豊	高16回
常任理事	岡部 勝一	高26回
常任理事	小岩井瑞恵	高31回
常任理事	甘利 治子	高16回
常任理事	井出 忠平	高18回
常任理事	井上 隆	高29回
常任理事	井上 恭雄	高44回
常任理事	小山 仁志	高46回
常任理事	中沢 朝幸	高24回
常任理事	依田美恵子	高21回
常任理事	桜井 幸博	高26回
常任理事	吉川 友子	高42回
常任理事	小林 貴幸	高44回
常任理事	木内 盛行	高13回
常任理事	松川 宣弘	高16回
常任理事	森山 邦夫	高20回
常任理事	掛川 章	高21回
常任理事	小山 新一	高21回
常任理事	森泉 正吾	高27回
常任理事	白田 隆子	高29回
常任理事	遠山 隼一	高29回
常任理事	鈴木 順子	高33回
常任理事	土屋 充俊	高34回
常任理事	加藤 則行	高35回

支部長	岩村田 内藤 勝利	高32回
支部長	(東)中條 壽一	高14回
支部長	川 西大森 拓	高19回
支部長	小 諸相原 久男	高21回
支部長	(御代田)尾台 恒男	高13回
支部長	中 込柳澤 潔	高19回
支部長	白 田三石 義文	高25回
支部長	(佐久穂)岡部 勝一	高26回
支部長	(東)吉澤 広喜	高20回
支部長	木島 浩	高39回
支部長	荻原 一也	高40回
支部長	塩谷 正勝	高40回
支部長	尾台 和彦	高41回
支部長	星野 泰宏	高42回
支部長	佐藤 千曲	高42回
支部長	北山 浩一	高46回
支部長	土屋 泰則	高46回
支部長	三石 俊充	高48回
支部長	林 稔	高14回
支部長	相原 久男	高21回
支部長	萩原すみ子	高21回
支部長	小林 二三	高21回
支部長	浅沼 幹司	高24回
支部長	木曾 睦招	高24回
支部長	佐藤 芳弘	高25回
支部長	中島 幸雄	高25回
支部長	竹内 健一	高33回
支部長	白石 真樹	高44回
支部長	前島 正彦	高44回
支部長	荻原 一寿	高44回
支部長	勝利	高32回

### 同窓会活動にご参加を 依田 美恵子(高21回)

第30回記念同窓生総合作品展を手伝つて、班の先輩から声がかかったのは、2000年のこと。その後記念誌の編集のお手伝いをし、気が付けば役員のお末席に名が。地元に住む者の務めでもありますが、これまで続けてこられたのは、先輩達が、あまりにも魅力的で楽しかったのと、岩高が大好きだからかもしれない。

入学式・卒業式に参列させていただき式辞をお聞きする度に、

自分の卒業式の岩垂潔校長の「質実剛健・信頼されるに足る人間たれ」のお言葉が甦ります。この教育方針は今の式辞でも必ず語られます。半世紀ぶりの式辞すべてが心に響くのは年の功かもしれません。そして生徒と共に校歌を歌える幸せ・・・同窓会の活動は人生をより豊にしてくれると思います。母校発展の為多くの皆様の同窓会レビューをお待ちしています。

支部長(長)	野松川 宣弘	高16回
支部長(東)	清水 光男	高8回
同窓会事務局	内堀 俊彦	高40回
事務局局長	小岩井瑞恵	高31回
会 計	飯田 和紀	高37回
庶 務	柳澤 眞平	高25回
総 務	柳澤 眞平	高25回
同窓職員	柳澤 眞平	高25回
英 語	柳澤 眞平	高25回
英 語	小岩井瑞恵	高31回
教 頭	小林 敏明	高34回
数 学	飯田 和紀	高37回
学校事務	片井 理絵	高37回
保健体育	内堀 俊彦	高40回
学校司書	瀬原 綾香	高57回
TEL	385-0002	
TEL	1248-1	
TEL	67-2439	
FAX	67-1450	
事務局メールアドレス	shin-yan@nagano-c.ed.jp	